

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	建築学基礎演習	担当教員	建築学科教員		
学年学科	4 年 建築学科	通年	必修	2 単位	
学習・教育目標	(D・2) 100% E 10%				
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 建築学に対する留学生の理解を深める効果をもつ。建築学基礎演習 から継続して、建築の 3 つの分野である、構造・環境・計画（設計製図を含む）の授業内容に関する補助教材を用意し、説明とその演習により学修の深度を深める。  計画・設計分野の理解が深まる 構造分野の理解が深まる 環境分野の理解が深まる		<b>成績評価の方法：</b> 課題・演習等の成果で評価する。  <b>達成度評価の基準：</b> 下記における課題・演習等に対する成果の完成度が 6 割以上であること。  計画・設計分野の理解が深まったか 構造分野の理解が深まったか 環境分野の理解が深まったか			
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> 同級生と一緒に受講している講義と平行してこの科目の講義/演習は進めていくので、担当教員の指示を受け、計画的に進めること。					
<b>教科書および参考書：</b> 特に教科書はなく、補助教材・適宜プリント等の資料を使用する。					
授業の概要と予定：前期					AL のレベル
第 1 回：前期の授業進め方の説明と検討（下村）					
第 2 回：建築計画に関する演習 - 1（櫻木）					
第 3 回：設計製図に関する演習 - 1（清水）					
第 4 回：地域都市計画に関する演習 - 1（鶴田）					
第 5 回：建築計画に関する演習 - 2（櫻木）					
第 6 回：デジタルデザインに関する演習 - 1（今田）					
第 7 回：設計製図に関する演習 - 2（清水）					
第 8 回：インテリア設計に関する演習 - 1（中谷）					
第 9 回：構造力学に関する演習 - 1（柴田）					C
第 10 回：鉄骨構造に関する演習 - 1（下村）					
第 11 回：RC 構造に関する演習 - 1（犬飼）					
第 12 回：インテリア設計に関する演習 - 2（清水）					
第 13 回：環境工学に関する演習 - 1（青木）					
第 14 回：建築設備に関する演習 - 1（中谷）					
第 15 回：地域都市計画に関する演習 - 2（鶴田）					

授業の概要と予定：後期	ALのレベル
第16回：後期の授業進め方の説明と検討（下村）	
第17回：情報処理に関する演習 - 1（柴田）	C
第18回：環境工学に関する演習 - 1（青木）	
第19回：設計製図に関する演習 - 1（鶴田）	
第20回：建築材料に関する演習 - 1（犬飼）	
第21回：建築設備に関する演習 - 1（中谷）	
第22回：建築計画に関する演習 - 1（櫻木）	
第23回：設計製図に関する演習 - 2（鶴田）	
第24回：情報処理に関する演習 - 2（柴田）	C
第25回：鉄骨構造に関する演習 - 1（柴田）	
第26回：RC構造に関する演習 - 1（犬飼）	
第27回：構造力学に関する演習 - 1（柴田）	
第28回：建築計画に関する演習 - 2（櫻木）	
第29回：構造力学に関する演習 - 2（柴田）	
第30回：技術者倫理に関する演習（下村）	

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
	設計・計画分野において、成果物が完成(8割以上)している。	設計・計画分野において、成果物がほぼ完成(6割以上)している。	設計・計画分野において、成果物が完成していない。
	構造分野において、課題が完成(8割以上)している。	構造分野において、課題がほぼ完成(6割以上)している。	構造分野において、課題が完成していない。
	環境分野において、課題が完成(8割以上)している。	環境分野において、課題がほぼ完成(6割以上)している。	環境分野において、課題が完成していない。